

Ⅲ 取組の進化・発信

2018年国際水協会(IWA)世界会議や、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、さらにその先の将来を見据え、多様な主体と連携し、世界一の東京水道システムをさらに進化させ、「WATER & TOKYO 東京水道イノベーションプロジェクト」として、国内外へ発信していきます。

① お客さまとの対話（実感・信頼していただくための対話）

現状・課題

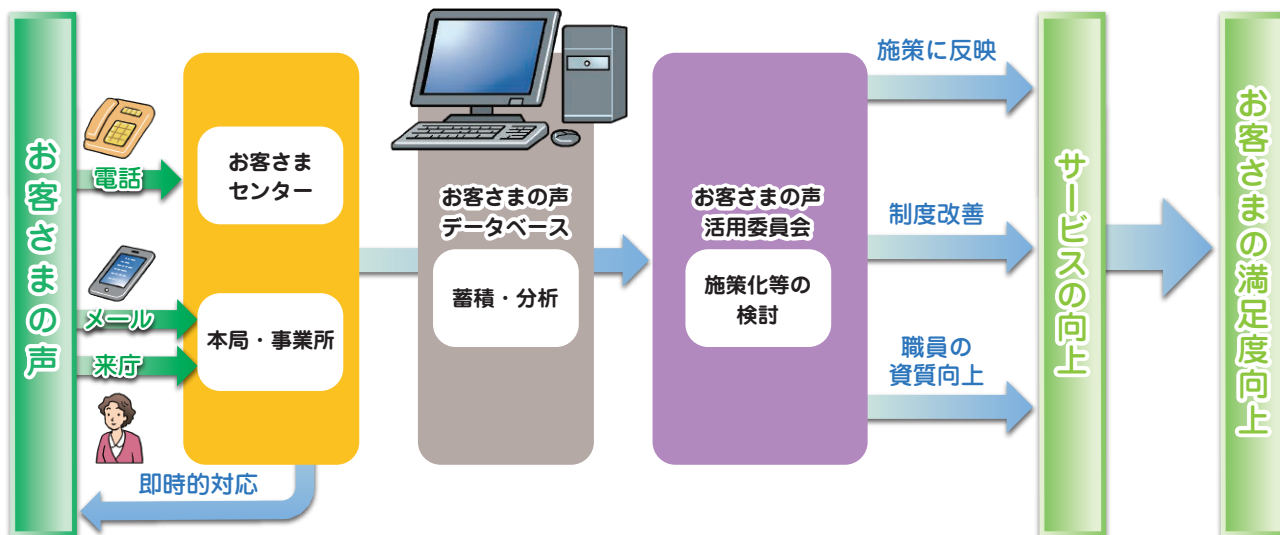
水道を実感し理解を深めていただく取組

お客さまに水道事業への理解を深めていただくため、様々な媒体を活用して広報活動を推進するとともに、あらゆる機会をとらえてお客さまの意見の把握に努めています。

＜様々な広報媒体を活用した発信＞



＜積極的な広聴によるお客さま満足度向上＞



また、安全でおいしい高品質な水をつくり届ける様々な施策を推進するとともに、それをお客さまに実感していただけるよう、体験・体感型の取組を推進しています。

< 体験・体感型の取組 >



このような取組を含め、「環境や家計にもやさしい」ことや「生活にかかせない」ことなど、水道水の良さをお客さまに実感していただけるよう、「東京タップウォータープロジェクト～くらしを支える東京水～」として展開しています。

< 水道水の良さ >

環境にやさしい

ボトル水の製造・輸送にかかるエネルギー

比べて

水道水をつくり、届けるエネルギー
約1,000分の1

家計にやさしい

1日1リットル
ボトル水(100円)なら
1年で36,500円

比べて

1日1リットル水道水なら
1年で約70円

生活にかかせない

②多様な地域広報の展開

水道キャラバンの充実

水道事業の理解促進のために、これまで給水区域内の小学校や児童館等で実施してきた水道キャラバンに加え、一般の方々向けの新たな地域水道キャラバンを実施していきます。

< 水道キャラバンの体系 >

区分	学校水道キャラバン	地域水道キャラバン	
対象	主に小学4年生	乳幼児の保護者の方々	一般の方々
場所	小学校及び特別支援学校	児童館等	水道局主催のイベント会場や区市町主催の市民講座等
内容	水道の仕組みを楽しく学習できるように、寸劇やクイズ、浄水実験などを実施	水道事業の取組や生活に役立つ水道の情報を寸劇等で紹介	水道事業の取組をより詳しく説明するとともに、発災時の対応などもわかりやすく説明

平成28年度に試行後、平成29年度以降順次拡大



▲水道の歴史に関するクイズ
(学校水道キャラバン)

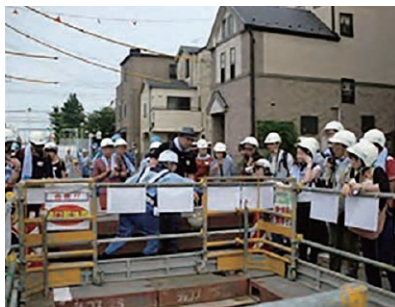


▲うがい手洗いの大切さを学ぶ様子
(地域水道キャラバン)

工事現場等での広報

工事現場での説明会や水道事業のPRの実施、多くの人が集まる地域イベントへのPRブースの出展、地域別広報紙の配布など、地域に即した情報を発信しています。

今後とも、水道事業への理解を深められるよう地域に根差したきめ細かい広報活動を推進していきます。



▲水道管工事の現場説明会



▲工事現場付近にインフォメーションセンターを設置



▲イベントでのPR

年次計画

	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
学校水道キャラバン	実施 毎年度1,200校				
地域水道キャラバン	実施 160回	180回	180回	200回	200回
工事現場等での広報	実施				